



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和5年(2023年)
12月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

子どもたちに流れる時間

校長 垣内 幸太

すっかり秋も深まり、今年も残すところ1か月となりました。先日の学習発表会では、どの学年の子どもたちも日頃の成果を存分に発揮してくれました。PTA役員さんの周到なご準備、みなさんのご協力により、円滑に会も進行され、多くの方に拍手を送っていただくことができました。ありがとうございました。

さて、「タイムパフォーマンス(タイパ)」という言葉をご存じでしょうか。コスパ(費用対効果)ならぬ、タイパ(時間対効果)です。かけた時間に対して「効果」「お得感」「満足度」が高ければ「タイパ」がよいという状態ということです。いま、この「タイパ」が重視される傾向にある世の中だと言われています。教育においてもこの「タイパ」重視は例外ではありません。例えば、ICTを用いた効果的な教材の開発、個々のニーズに応じた教育プログラムの導入、AIによる学習者へのフィードバックなど、「無駄」を省き時間を短縮しつつ、より高い効果のあるものが開発、導入され続けています。個に応じた、効率の良い教育が行われることは素晴らしいことでもあります。

一方で、「タイパ」「コスパ」のみでははかることのできない活動もあります。

例えば、心を一つにしておこなう学習発表会に向けての練習時間、多数派のみの意見ではなく少数派の意見にも耳を傾ける仲間との話し合い、イベントに向けて出し物の準備にかかる時間…。大人から見ると、もっと効率的に短時間でできそうに思えることも、子どもたちの満足度は高く、大きな教育的効果をもたらす時間となっています。ついつい、「しっかりやりなさい」「もうこれでいいじゃない」「もう時間がないよ!」と「タイパ」に偏った指導をしてしまいがちな自分と戦いながら、我々も子どもたちに向かいます。

今、運動場を眺めると、夕日が注ぎ込むなかで、子どもたちが楽しく遊んでいます。その傍らにはすっかり黄金色にそまった銀杏の木が子どもたちを見守っています。そんな風景を見ていると、しなければならない雑務を忘れてしまいます。子どもたちに流れている時間と大人である我々に流れている時間のちがいを実感します。決して「タイパ」的にはよくないかもしれませんが、私にとっては至極幸せな時間です。

これからの時代、教育効果の高いものを取り入れていくことはもちろん必要ですが、子どもたちに流れる時間に寄り添い、一人一人の思いや意思が大切にされる教育がなされなければなりません。今後も、箕面小では「支え合い、ともにのびゆく箕面っ子」の目標の元、子どもたちに流れる時間をしっかり感じながら教育活動をおこなってまいります。

少し早いご挨拶となりますが、2023年も大変お世話になりました。平素より子どもたちを見守っていただいている保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございます。それぞれのご家庭での時間を過ごされ、素敵な新しい年を迎えられますようお祈り申し上げます。3学期も、引き続き、本校教育活動への変わらぬご理解ご協力をよろしくお願いたします。